

果樹園だより

徳島県立池田高等学校三好校



ピワの収穫

1年生の総合実習の時間にピワを収穫しました。高い場所にあるピワは脚立を使って収穫しました。

食農科学科1年生は総合実習の時間に、果樹・野菜・畜産・食品と4つの専攻を体験し、3学期にどの専攻に進むのかを決めます。



雨日の実習

6月は梅雨の時期。実習は雨の日でも行います。ただ、雨の日は、雨に濡れないような場所での実習となります。そのため果樹の実習ではハウス内の作業が多くなります。

生徒たちは作業よりも農場に行く方が雨に濡れるので大変かもしれません。



台湾からの留学生

池田高校が台湾の学校と交流をしている関係で、三好校にも3日間台湾の留学生が農業実習の体験に来ました。今年は男女1名ずつ(写真中列2名)で、この日は果樹専攻の2年生の実習に参加しました。実習内容はナシの袋掛けです。

この日は猛暑だったこともあり、作業を早めに切り上げました。その後、前もって収穫していたピワを食べながら生徒たちは通訳アプリを使い、また簡単な英会話で交流を図りました。



ブドウの摘粒

摘粒とは、余分な果粒を取って果粒を調整し、果粒の大きさや房全体の形を整える作業です。

このブドウ園の担当は3年生です。一つ一つの作業を丁寧にこなして、おいしいブドウができます。この日も暑い中での作業でしたが、みなさんよくがんばりました。



まごころ市の運営

三好校では毎学期に6回、「まごころ市」という形で、農場で収穫されたものを校内で一般の人向けに販売しております。この日は果樹専攻が当番でした。

まごころ市で人気があるのは鶏卵です。開催時間前から多くの方が列を作り待っています。卵の他にはイチゴジャム、ブルーベリージャム、花の苗などを販売しております。



モモの収穫

徳島県で初めて成功したモモの棚栽培、今年も収穫を迎えることができました。せん定、ねん枝、肥料やり、摘果、袋掛け、ネット張りなどの作業を経て、やっと収穫です。収穫直前には、2つのモモが小動物の被害を受けましたが、それ以外は無事収穫できました。

収穫のため、袋を外すとモモのいい香りが漂います。この香りに誘われて小動物がモモを狙うのも理解できます。収穫したモモはこのあと、一つ一つ大きさと糖度を測って記録に残します。このモモ園の作業は2年の専攻生によって行われました。



ナシ園のネット張りに向けた除草剤散布

台風の季節がやってきます。強風への対策としてナシ園に防風ネットを張ります。その前の作業として、ワイヤーで囲まれている箇所へ除草剤を散布する作業です。ネットを張るとその箇所の草刈りができなくなるので、草が生えないようにします。



ナシ園のネット張り

期末テストの最終日、3年の専攻生がネット張りをしました。防風のためのネットですが、小動物や鳥などからもナシを守るために、少しでも早く張るのがいいんです。

しかし、実はこの翌日、ナシの被害がありました。詳しくは8月号でお知らせします

